

高校生が防災を学ぶ！馬頭高校で防災教育支援



大田原地域事務所長の防災講話

栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井 陸尉）は、3月23日（木）、栃木県立馬頭高等学校において、次年度3年生となる生徒70名を対象に防災意識の向上を目的とした防災教育支援を実施した。

当日は、大田原地域事務所長による防災講話のほか、東日本大震災での活動内容や、危険から身を守るためのライフハックの実演が行われた。

また、中央即応連隊（宇都宮）及び東部方面特科連隊第2大隊（宇都宮）の支援を受け、人命救助システム



自衛隊クイズを用いて楽しく防災教育



校庭いっぱいにならべられた展示車両



人命救助システム操作を体験

「また、「自衛官って普段何してるんですか？」と生徒から質問され、元気に答える隊員の姿があり、自衛隊について将来の選択の一つとしても興味を示す一面もあった。」

大田原地域事務所は、「自衛隊に興味を持ってもらう良い機会になった。今後は、高校生だけでなく、小・中学生や保護者も含め参加できるように範囲を広げていく」としている。

生徒達は、「今まで意識していなかったけど、防災に対する心構えを認識した」と、改めて防災に対する意識が高揚した様子であった。

また、「自衛官って普段何してるんですか？」と生徒から質問され、元気に答える隊員の姿があり、自衛隊について将来の選択の一つとしても興味を示す一面もあった。」



人命救助システムに興味深く見学



野外炊具1号の展示



防弾チョッキ体験と輸送防護車展示



防弾チョッキ体験と96式装輪装甲車